

Beyond KUSS, 2020 !!

大学入試のさまざま

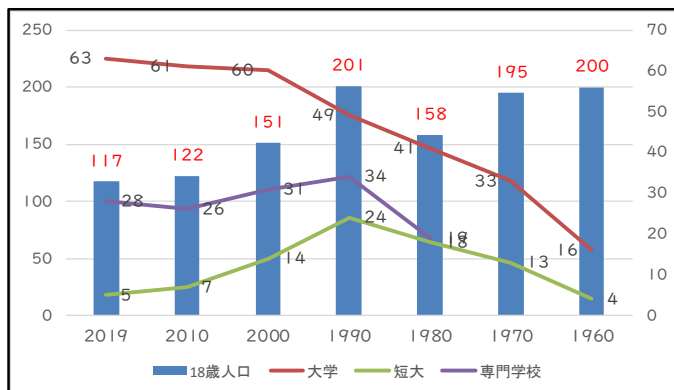
先週、「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りについて紹介しました。その後も、「共通テスト」についてメディアが取り上げる機会が多いです。2021年入試について、国立大学は11月29日(金)までに対応を発表します。興味のある人は、各大学のHPをチェックしてください。

前回、6回生の推薦・AO入試出願状況全般について紹介しました。今回は出願数の多い大学を紹介します。右表が11月1日段階で6回生推薦・AO入試出願(予定を含む)数5名以上の大学です。6回生は延べ133名が49校に出願しています。男子は右表の6校で出願の3分の2を占めます。女子も4割を占めます。特定の大学に出願が集中していることがわかります。

本校の出願の特徴は、私立大学だけでなく、国立大学も2校含まれている点です。推薦・AO入試は、合格しやすいわけではありません。特に、国公立大学は、いわゆる従来型受験学力だけでなく、学びに向かう力や主体性を審査の要素としています。

No_13(20190711)で18歳人口の減少について紹介しました。18歳人口と大学・短大・専門学校進学者の推移は左グラフのとおりです。四年制大学進学者の増加は群を抜いています。

省略



6回生で推薦・AO入試出願が最も多い関西学院大学の状況は下表のとおりです。40年間で入学定員は2330名増加しています。18歳人口は4分の3に減少しています。さらに、2019年では2650名が推薦・AO入試の定員です。いわゆる従来型学力検査で入学する定員は40年前とほぼ同じ人数です。参考までに関西学院大学の今春の入学実

態を示しています。入学定員と入学実態はずいぶん異なります。推薦・AO入試の入学定員は47.9%の定員ですが、実態は3383名、入学者の63.1%を占めます。

これは関西学院大学だけの状況ではなく、難関私大と評価されている有名私大ではよく似た状況になっています。大学に合格することを目的としていたのでは、大学卒業後に高い評価を受けることは困難です。大学入学後に、大学で学ぶことができる人が大学卒業後に高い評価を受けることが可能になります。そのため、大学入学までに幅広い学力・教養を身につけておくことが大切です。

本校ではそのような人材を育成するため、全教科の履修と卒業研究を全生徒に課しています。将来の自分をしっかりと見据えて、大学入試を乗り越えてほしいです。今の時期、大学入試を突破することが最優先となり、他のことを考える余裕はないかもしれません。しかし、大学入試は卒業後のステージに立つためのハードルに過ぎません。卒業後のステージで活躍できるようにがんばりましょう。

関西学院		1980年	2019年	入学者数
入学定員		3,200	5,530	5,358
一般	一般CT	2,810	2,880	1,975
	(占有率)	87.8	52.1	36.9
特別	推薦・AO等	390	2,650	3,383
	(占有率)	12.2	47.9	63.1

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2020 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。